

(仮称)「アートがそばにある暮らしポータルサイト」構築等 業務内容

1 業務の名称

(仮称)「アートがそばにある暮らしポータルサイト」構築等業務

2 業務の期間

契約締結日から令和5年3月31日(金)

3 業務の目的

市民が気軽に文化芸術に触れる機会のさらなる創出を図るため、「北九州市の文化芸術メディアサイト CulCul・かるかる」等をリニューアルして、(仮称)「アートがそばにある暮らしポータルサイト」を新規に立ち上げる。

閲覧しやすく使いやすさを備えたポータルサイトを活用することで、市内文化施設や文化芸術活動を行っている団体や個人を応援する仕組みなどの情報を、これまで以上に一元的に広く市民に発信し、市民の「アートがそばにある暮らし」の実現を目指す。

4 業務の内容

「アートがそばにある暮らし」をコンセプトとしたポータルサイトの構築及び運用に向けた準備、効果的な発信を行うためのデザインやレイアウトなどの企画構成、加えて継続的な魅力発信のためのアイデア等を求めるもの。

(1) ポータルサイトの構成・機能

ア 別紙1の「ポータルサイトの構成(標準)」に記載の内容を盛り込むこと。

イ モバイルファーストに基づいたデザイン等の構成

スマートフォン、タブレット端末等マルチデバイスへの対応を必須とし、レスポンスデザインなど、利用しやすい機能や設計とすること。

ウ あらゆる層が利用しやすい時代に即したサイト機能

- ① 利用者が、好みや生活スタイル等に合わせたイベント情報検索がしやすい機能を設けること。
- ② 多様化するニーズに対応し、市民、アーティスト、各文化施設など様々な層が活用できるよう、「利用目的」や「利用形態」などを想定し楽しめるような工夫を盛り込むこと。
- ③ イベント情報は文字だけでなく、チラシや写真、動画などイベントに関する情報を視覚的に見やすく表示させること。
- ④ 継続して多くの人に閲覧してもらえるような工夫を盛り込むこと。
- ⑤ 高齢者や障害者等をはじめとする、あらゆる利用者が、できる限り読みやすく使いやすいポータルサイトになるよう配慮した設計に努めること。
- ⑥ 財団や各施設が運用する SNS と連動した情報発信ができる機能を設けること。
- ⑦ 各コンテンツについて、原則3クリック(最大でも5クリック)以内に目標とする対象にたどり着けるようにサイト設計を行い、サイトマップおよびページ遷移図を作成すること。

- ⑧ 日本産業規格「JISX8341-3:2016」で定められた達成基準のレベル A 及び AA に対応すること。

エ 検索エンジンの最適化（SEO 対策）

利用者が目的の情報を入手するために、主要検索サイト（Yahoo! Google など）のキーワード検索を利用することを考慮し、各ページを上位に表示されるように工夫すること。コンテンツ制作に際しても、アクセス向上のため、SEO 対策のためのキーワード、タイトル、見出し等を考慮してページ作成、構築を行い、新規にページを作成する際も同様の対策を行えるよう配慮すること。

オ 広告展開（有料広告の募集等）が可能なシステムとすること。

(2) ポータルサイトのデザイン

ア 生活に潤いや活力、そして笑顔をもたらしてくれる「アートがそばにある暮らし」を感じられるデザインとすること。

イ ポータルサイト全体のデザイン構成や見せ方に工夫をほどこし、あらゆる層の人々が繰り返し利用したくなるデザインとすること。

(3) 魅力的な企画コンテンツ

ア 別紙 2 の「ポータルサイトの構成（その他のコンテンツ例）」を参考に、ポータルサイトの媒体価値向上につながる魅力あるものとすること。

イ 「日々新しい情報が更新されているポータルサイト」ということがわかるシステム、デザインとすること。

ウ ポータルサイトの利用者増加につながるよう、SNS を活用した仕組みを盛り込むこと。

(4) 管理者機能

ア 各文化施設担当者がシステム等の専門的知識を必要とすることなく運用できるシステム

① イベント情報の新規入力・追加・修正等の管理を、財団職員や各文化施設担当者が簡単に行えるようにすること。その際、専門的知識のない職員でも取り扱えるよう簡単な入力システムなど操作性に配慮するとともに、作業を複数の者で行えるよう、ID、パスワード等で管理できるようにすること。

② 入力された情報は全て財団の承認を経て情報公開となるシステムとすること。

③ システム管理のために必要な作業は随時財団職員が行えるようにすること。またユーザーの動向調査として、いつ/誰が/どこから/どのくらい/どのページにやって来たか等、コンテンツ毎のアクセスログ解析ができるものとする。

④ 入力されたイベント情報や記事投稿等の修正等を行う際、事務用パソコンに特別なプログラム、証明書、アドオン等のインストールの必要がないこと。

イ 効率的で利便性の高いシステム

① イベント情報の新規入力・追加・修正等は、各文化施設担当者が直接行うため、本ポータルサイトへの情報入力は、ごく簡単にかつ時間をかけず誰もが負担なく取り扱いやすい情報入力システムとすること。（例：使用頻度の高い入力項目は簡単に表示されるような汎用性あるシステム等）

② 入力イベント情報は情報公開日程を予約設定できるものとし、管理システム上でいつどの情報が公開となるかなど、情報公開前にカレンダー形式等で確認・調整できるものとすること。

- ③新規ページ作成の際、既存ページからの複製、プレビュー機能等を盛り込んだ利便性の高い入力システムとすること。

(5) 動作環境

Edge、GoogleChrome、Firefox 及び Safari 等、広く一般的に使用されるブラウザ及び、MacOS については最新版（2022 年 8 月時点）に対応、また WindowsOS は 10 以上に対応し、先記ブラウザや OS で閲覧してもレイアウトやデザインの崩れがないこととする。

(6) ポータルサイト運用環境

- ア ウイルス対策や情報漏えい等の情報セキュリティ対策が講じられた信頼性の高いクラウドやサーバなどのポータルサイト運用環境を準備・活用し、24 時間 365 日サービス利用が行えるものとする。
- イ コンテンツの追加等に応じて、データ容量を順次拡張することができるなど、拡張性があり、柔軟に対応できるものであること。
- ウ 障害時に自動又は手動により、最終バックアップ地点まで復旧できる仕組みであること。
- エ 使用するポータルサイト運用環境については、サービス利用に遅延等の支障をきたすことなく稼働するリソースを有すること。また、安全性の確保の観点から協議の上決定すること。

(7) その他

- ア 多言語対応機能（英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字））を盛り込むこと。
- イ 独自ドメイン（.jp）を取得すること。（ドメイン取得費及び使用料は委託費に含む）
- ウ 開発に必要なハードウェア・ソフトウェア等については、全て受注者にて用意するものとする。
- エ 受託者、イベント情報入力担当者（財団職員、各文化施設職員等）を対象に、マニュアルに基づく操作研修を実施すること。
- オ ポータルサイトの利用規約案を作成すること。
- カ ポータルサイトの運用ポリシー案を作成すること。
- キ ポータルサイトのイベント情報データを、エクセル（CSV）で出力できるようにすること。

5 情報セキュリティ

- (1) 個人情報の取扱い方法等に応じて、適宜、ポータルサイトの通信を暗号化すること。また、データ送信は、常時 SSL 証明書で暗号化された通信（https）により行うこと。
- (2) 個人情報の保護やセキュリティについては、徹底した管理を行うこと。
- (3) 実施する情報セキュリティ対策について、具体的に示すこと。

6 資料の貸与

本業務の遂行上必要な資料の収集、調査等は原則として受託者が行うものとするが、財団から貸与を受けた資料については、そのリストを財団に提出し、業務完了とともに返却すること。なお、財団から返却の要請があった場合は、速やかに返却すること。

7 稼働後の保守運用、運用支援及びサポートの考え方

ポータルサイトの稼働後、保守運用、支援について下記の内容を前提とすること。（2 年目以降の事業締結を確約するものではない。）

(1) 問い合わせ窓口

- ア 障害発生時の初期切り分け対応、財団職員からの操作・運用方法等の相談対応等に一元的に対応する問い合わせ窓口を設け、対応内容を記録すること。
- イ 平常時の問い合わせ受付時間は、平日 8 時 30 分から 18 時とすること。
- ウ 緊急時（障害発生時、災害時等）は上記受付時間外も対応することとし、平常時を含めた保守体制、連絡体制（夜間、休日の連絡先を含む）及び担当者氏名について書面で提出すること。

(2) バックアップ

- ア データのバックアップを毎日行うこと。バックアップ取得時間、保管期間等は協議により決定すること。
- イ データバックアップは、原則自動で実施し、運用時間（ポータルサイト利用時間）中のシステム停止等、運用への影響がない仕組みとすること。

(3) 障害対応

- ア 本システムに故障等が発生し、業務運用に支障が生じた場合又はそのおそれがあると判断される場合には、事業者の負担で速やかに故障を回復し、正常な業務運用が可能となる状態に復旧する等の保守作業を実施すること。また、故障等を事前に予防するための定期点検についても実施すること。
- イ 障害復旧時には、速やかに原因調査を実施すること。また、調査にあたって必要に応じて財団に協力を求めること。
- ウ 情報の採取、データ整合性・不具合調査、データ復旧等を行うこと。また、バックアップデータからの復旧が必要な場合はその作業を行うこと。
- エ 障害の発生原因を調査し、改善の提案・報告を行うこと。また、調査の結果、本事業の調達内に含まれるソフトウェア等に起因する場合は、対応作業（修正・再設定・動作確認を含む）を行うこと。
- オ 本ポータルサイトに障害が発生していない場合においても、本ポータルサイトと同様のシステムを導入している施設等にて障害が発生した場合、財団への影響調査を実施し、予防的な対応を行うこと。
- カ ポータルサイトを構築しているソフトウェア等のバージョンアップを定期的に行うこと。また、ソフトウェア等に脆弱性がないか定期的に調査し、脆弱性が発見された場合は、直ちに対応すること。

(4) 運用支援及びサポート

- ア 受託者は契約後、ポータルサイトの運用にあたり、十分な打ち合わせを財団と行い当事業の円滑な推進に努めること。
- イ 操作における不明点の問い合わせに対するサポート窓口を有すること。
- ウ 財団からの問い合わせや運用に関する支援については電話、メール、訪問等により速やかなサポートを実施すること。原則として、財団の就業時間内とするが、緊急性が高いと双方合意したものに関しては、時間外であっても対応すること。

8 成果品等

(1) 成果品

- ア ポータルサイト 一式
- イ 財団及びサイト利用者用操作マニュアル（書面及びデータ） 一式
- ウ システム設計書 一式
- エ コンテンツデータ 一式
- オ ドメイン取得資料一覧 一式
- カ 業務完了報告書 一式
- キ その他資料

① 業務着手時

業務実施計画書・業務スケジュール・業務分担等体制図

② その他業務遂行上必要とされる書類

開発に係る打合せ、議事録、企画書、要件定義書、サイトマップ、研修実施報告書等の書類

※提出するデータ形式は、原則として PDF・マイクロソフト社のワード・エクセル及びパワーポイント等とすること。これらによることが難しい場合は、別途事前に協議すること。

(2) 成果品の帰属

成果品の管理及び権利の帰属は、すべて発注者のものとし、財団が承諾した場合を除き、受託者は成果品を公表してはならない。

(3) 責任の範囲

- ア 本業務の完了後において、不備等が発見された場合は、受託者は速やかに成果品の訂正をしなければならない。
- イ アの訂正に要する費用は、受託者の負担とする。

9 その他留意事項

- (1) 業務完了後1年間において、受託者の責に帰すべき事由による本業務内容との不一致が見られた場合は、財団と協議の上、受託者は無償で是正措置を実施すること。
- (2) 委託契約締結後は、速やかに業務を履行し、履行期間内に業務を完了すること。
- (3) 託業務契約期間中は、主に担当する業務実施責任者を1名配置し、やむ得ない場合を除き、履行期間中は変更しないこと。
- (4) 受託者は、本業務の全部を第三者に委託してはならない。本業務の一部を第三者に再委託する際は、書面により財団の承諾を得ること。
- (5) 受託者が著作権を有する著作物を除き、本業務による全ての著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は財団に帰属するものとし財団及び受託者が協議の上で2次利用等することがある。
- (6) 翌年度以降も引き続き維持・更新が行えるよう、委託契約終了後もデザインやコンテンツなどを引き継げるようにすること。
- (7) 当該業務の遂行にあたり収集した情報については、機密保持に努めるとともに、施錠の徹底や電子データのパスワードを設定するなど、万全のセキュリティ対策を講じること。

- (8) 本サイトを構築・運用する上で、本業務内容に記載されていない事項が発生した場合や疑義が生じた場合、並びに業務上重要な事項の選定等については予め財団職員と協議を行い、その指示又は承諾を受けること。

10 スケジュール

令和4年9月～	業務着手 ポータルサイトの開発・稼働確認
令和5年3月	ポータルサイトの試験運用・改善点の反映 業務完了

ポータルサイトの構成（標準）

記事	内容	備考
公共施設関連	イベント情報 ※検索機能 ※カレンダー機能	・ イベント情報等はトップページに表示 ・ 各文化施設から直接入力 ・ 情報入力に時間や手間がかからない仕様とし、利便性を確保する ・ 入力内容を財団チェック後情報公開 ・ イベント情報の公開は、入力時にイベントごとの情報公開日を設定するなどし、一括での情報公開は行わず、日々新しい情報が公開となるスケジュールリングが可能な仕様とする ・ イベント情報入力時に、ジャンル/エリア/会場/有料無料/想定するターゲット等をチェック入力でき、検索機能と連動するような仕様イメージ ・ 例年実施のイベントは過去の情報（実施写真等）がわかるような仕様とする ・ トップページには当日の日付や時間、北九州のアートに関する今日は何の日といった情報が自動表示されるような仕様
	施設空き状況	・ 各施設の空き状況へリンク
	特集記事 (テキスト・動画)	・ 入力内容を財団チェック後情報公開
	文化施設紹介	・ 施設基本情報 ・ 地図上に各施設の位置が表示される仕様 ・ 地図上の施設名をクリックすると公式HPへのリンク ・ 財団 vlog シリーズ（動画）などの紹介
アーティスト (個人) 紹介ページ	文化賞受賞者 顕彰者等	テキスト・写真・動画での構成を可能とする仕様
文化芸術団体 紹介ページ	北九州の 文化芸術団体	・ 各団体がシステムに入力 ・ 掲載情報に有効期限を設ける（登録年度末まで等） ・ 財団の審査を経て情報公開
アート関連 サポート情報	助成金、行政等情 報、ノウハウ紹介、 クラウドファンデ ィングの募集紹介	・ 掲載希望者がクラウドファンディング情報ページに情報を登録 ・ 財団内での審査を経て情報を公開。
アーカイブ		・ CulCul バックナンバー ・ 東アジア文化都市イベントや、市・財団主催イベントのアーカイブ保存・発信

ポータルサイトの構成（その他のコンテンツ例）

項目	内容案
市民紹介ページ	・インタビュー（テキスト・動画） （例）財団YouTube「ねほりはほり」の活用等
	・各文化施設の催し来場者紹介（写真・動画等）
アーティスト紹介ページ	・北九州芸術劇場・響ホール出演者等へのインタビュー （テキスト・写真・動画など）
チケット購入案内	・各チケット購入サイトの入口まとめ

※上記は魅力的なポータルサイトづくりのための企画及びアイデアの一例。